



すみれ歯科・こども歯科クリニック
～ららぽーと豊洲東館～

インビザライン治療とマルチブラケット治療の メリット・デメリット

ブラケット装置 歯の表面に装置がつきます。	インビザライン治療 (マウスピース型矯正装置)
	
特 徴	
昔から行われている治療法であり、実績という点で言えば、間違いありません	比較的新しい治療法ですが、全世界で600万人の治療法履歴があり、当院では特にそのパイオニア的な企業であるアライン社の「インビザライン」を使用しています。
通院間隔	
○1ヶ月に一度	◎2～3カ月に一度
見た目	
×歯の表面にボタンがつき、ワイヤー(針金)をボタンに通しますので、見た目は良いとは言えません。	◎クリアなマウスピースなので、他人からは装着しているかどうかすら認識されないことが多いです。
食 事	
▲くっつきやすいものや硬すぎるものはお勧めできません。	◎マウスピースを外して食事ができるので制限はありません。
歯磨き	
▲いくつかの歯ブラシを使い分けて磨きます。難易度は高めです。	◎マウスピースを外して、歯磨きができるので簡単です。